

自然との会話 木登りで!!

秋田の村上さん

同好会呼びかけ

秋田市の会社役員が「木登りを気軽に楽しみ、秋田の自然を満喫する同好会設立を計画している。その名は「木登り『森空散歩』クラブ」。安全で手軽に木登りができる機会を設けるのが狙い。自然や林業の専門家から木登り名人などのボランティアと参加者を広く募集している。

発案したのは、産業・林業機械販売業「北日本TCMIワフジ」常務の村上幸志さん(59)。都市化で住宅地から樹木が減り、自然のたいご味を味わう機会が少なくなったと感じたのがきっかけ。スギや

セコイアなど高さが50メートルを超える巨木に挑むスリリングな木登りもあるが、このクラブでは、だれもが楽しみながら自然に触れ合う木登りを目指す。4月にも野山ハイキングを兼ねた簡単な木登りを計画している。



ロープを使って器用に自宅の木に登る村上さん

村上さんは山形県鶴岡市出身。子どものころから木登りを楽しみ、今でも週末には実家に出かけるなどし、ケヤキやクリの木に登るといって「風を楽しんだり、木のおいをかいたりすると心が安らぐ。紅葉も上からと見ると趣が違ふ」とほほ笑む。

登りやすい、風景が良いなど、「木登りに適した木」の情報も募集中。木肌がきれいなケヤキやブナなどの広葉樹で、樹齢が50〜100年が理想的という。問い合わせは018・846・9798、村上さん。【銭場 裕司】